



2025年2月12日

各 位

正安（北京）医療機器有限公司との戦略的パートナーシップ協定を発表！

～未来を拓く革新的な医療技術を活用し、日本市場における健康課題に対応してきます～

当社は、グローバルな医療機器を提供する中国企業の正安（北京）医療機器有限公司（Zheng'an Medical）（以下、「正安医療」といいます。）との間で戦略的パートナーシップ協定を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 戦略的パートナーシップ協定締結の背景



正安（北京）医療機器有限公司：<http://zayl.com/index.asp>

当社は、日本国内外での医療・美容分野における戦略的な事業展開も図っており、特に再生医療分野への積極的な参入も目指しております。

2024年11月29日付の開示「（開示事項の経過）株式会社ルミライズの株式取得（子会社化）に関するお知らせ」のとおり、株式会社ルミライズが手掛ける新たな再生医療事業分野による新規収益機会の創出は、当社として付加価値ある事業であり、新たな事業収益化を目指すものと位置付けています。

2024年6月には、世界的に著名なヘルスケア企業である京東健康（JD Health）との共同開催による（※）「日本国内市場向けクロスボーダー健康製品商談会」を実施しています。このような取り組みは、国際的ネットワークを活用した市場拡大の戦略の一環としたものです。

（※）2024年5月20日付、PR情報「[京東健康との共同開催による日本国内市場向けクロスボーダー健康製品商談会のご案内](#)」より

正安医療は、清華大学出身の呉小光博士の長年の研究成果を基に、高度な技術力を背景とする「三高半導体レーザー治療器（時計型）」を開発されています。

この革新的なデバイスは、650nmの波長を持つ弱レーザーと20mWの出力を活用し、赤血球の光化学反応を促進することで治療効果を発揮します。

さらに、時計型デザインを採用し、通勤や休息中でも利用可能な利便性を備えています。これにより、患者の日常生活と治療が無理なく両立できる新たなソリューションを提供しています。

今回、正安医療と日本市場における医療機器分野において、当社が目指す戦略の方向性とも合致したことから両社で今後、具体的な施策を図っていくために戦略的パートナーシップ協定を締結しております。この協定により、当社は正安医療の革新的な医療技術を活用し、正安医療の商品・サービスの付加価値向上および日本市場における健康課題の対応にも着手していきます。

2. 戦略的パートナーシップ協定の内容

今回、本協定により、当社と協働で日本における戦略を構築し、実行していくことについて、以下のような戦略的施策を考えております。

①医療機器の日本市場への展開

- ・日本市場の規制に適合させた製品調整および流通体制の確立
- ・医療機関や個人ユーザーを対象とした販売支援体制の構築

②市場マーケティングの強化

- ・日本市場に特化したマーケティング戦略の策定とその実行
- ・医療機器展示会や学術セミナーを通じたプロモーション活動の実施

③インバウンド医療サービスとの連携

- ・富裕層を対象とした付加価値型医療サービスの提供
- ・訪日観光客に対する体験型医療サービスの展開

3. 正安医療の革命的な製品：半導体レーザー治療器（時計型）



開発者プロフィール：呉小光博士

清華大学で光学を専攻し、レーザー医学の研究で国際的な評価を獲得した呉小光博士は、1997年に国家発明特許(ZL97104484.8)を取得し、血液レーザー治療分野の基礎を構築することで、多くの臨床研究を通じて患者に実証済みの効果を提供してきました。



▲半導体レーザー治療器（時計型）

半導体レーザー治療器（時計型）の特長と利点について

・非侵襲的かつ安全な治療が可能

弱レーザーが皮膚、脂肪、筋肉、血管壁を透過し、赤血球の光化学反応を誘導します。そのため、組織へのダメージを最小限に抑えつつ、治療効果を実現します。

・生活に適した設計

時計型の携帯性と利便性により、日常生活を妨げることなく使用が可能となっていますので、継続的な治療をサポートしていきます。

・最新技術との融合

日本の高度なバッテリー技術を採用予定にしており、検査と治療を一体化した次世代デバイスの開発が進行中です。

4. 今後の計画および期待される成果

当社は、正安医療との協業を通じて、正安医療の革新的な医療機器を日本国内で展開し、両社のリソースを最大限活用して長期的な協力体制を確立していきたいと考えております。

《今後の計画について》

・日本市場での調査と試用

顧客の受容性を評価するための市場調査を実施し、試用データを基に製品改善を図りながら、顧客満足度を向上させます。

・医療機器認証（PMDA）の取得

日本の規制当局との連携を強化し、迅速な認証取得を目指していきます。また、必要に応じて、電子製品としての暫定的市場投入も検討していきます。

・新製品開発

最新の研究成果を活用し、日本市場向けの最適化されたデバイスを開発していきます。

日本の高齢化社会における健康課題の解決、高血圧や心脳血管疾患への新しい治療オプションの提供、医療費削減や治療継続率の向上による医療システム効率化、そして両社のブランド価値および市場競争力の強化を包括的に目指していきます。

今後の事業の取り組み等の具体的な進行につきましては、適時お知らせしていきます。

なお、本件が当社の連結業績等に与える影響はございません。

■GFA 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

当社については、『金融が未来に変化を起こす！』をテーマにメタバースや金融事業を中心に、あらゆる顧客の資金需要を即時解決するとともに、SDGs を重視しながら、世界に存在意義のある事業の創造にコミットメントする会社を目指しています。

多分野に広がる当社のグループ企業のネットワークから、金融事業にフォーカスしたノウハウを集め、個人・法人問わず顧客ニーズに柔軟性ある確かな答えを提供していきます。

以上